

# 強者の戦略

こんにちは、日本史の岡上です。センター試験まで残すところ 50 日余りとなりました。受験生の皆さんは焦りと同時に緊張感も増してきたのではないのでしょうか。ここからは普段の勉強もさることながら、「本番に力を出し切れるか」という観点で自分を見直すことも大事です。どんな問題で躓くのか、どんな問題に時間をかけすぎてしまうのか。客観的に自分の弱点を把握して、その対処法を考えておく、想定しておく。そういった積み重ねが、本番までに培った力を存分に発揮することに繋がるのだと思います。残された時間はわずかですが、最後まで頑張っていきましょうね。

一方、高1生・高2生の皆さんはこの時期、受験に向けて自分の理想と現実に思いをめぐらせてもらいたいと思います。昨年も同様のことを書きましたが、「来年（再来年）になったら受験生」ではなく、「受験に対して真剣に取り組んだら受験生」です。目標を定めること、決断することには勇気が要りますが、少しでも早く受験生としての一步を踏み出して結果につなげるようにしていきたいですね。

さて、第 27 回となる今回は 2015 年の東大日本史の第 4 問を取り上げてお話をしていきたいと思います。さあ、1 週間、しっかり問題を考えてみてください。

## 【2015 年度 東京大学 文科前期 第 4 問】

第一次世界大戦中から、日本では都市化とマス＝メディアの発展が顕著になり、海外からの情報と思想の流入も、大量で急速になった。こうした変化が何をもたらしたかに関して、下記の設問 A・B に答えなさい。

### 設 問

A 上のような社会の変化は、政治のしくみをどのように変えていったか。大正時代の終わりまでについて、3 行以内で説明しなさい。

B 上のような社会の変化は、国際的な性格をもった社会運動を生んだ。その内容と、この動きに対する当時の政権の政策について、3 行以内で説明しなさい。